



# ベトナム訪問記録

2023/7/23~2023/7/26

## 目 次

1	視察日程	1
2	視察概要	2
3	視察先の記録	3
	①在ベトナム日本国大使館	3
	②ベトナム労働・傷病兵・社会省 海外労働管理局 (DOLAB)	4
	③(株)アール研究所ベトナム工場	4
	④ベトナム日本人材開発インスティテュート (VJCC)	6
	⑤VJEC 国際株式会社	6
	⑥ハノイ電機短期大学	7
	<資料>	
	訪問先への配布資料 (市長あいさつ)	9

## 1 視察日程

月日	時間	内 容	場 所
7/23(日)	11:51	一ノ関駅発 (やまびこ58号→(仙台乗換)→はやぶさ18号東京行)	
	14:08	東京駅着	
	14:33	東京駅発 (成田エクスプレス33号)	
	15:23	成田空港着	
	18:00	成田空港発 日本航空 JL751便	
	21:50	ノイバイ空港着	
	23:50	ホテル着	
7/24(月)	8:30	ホテル発	
	9:00	在ベトナム日本国大使館での情勢ブリーフ	日本大使館
	10:00	大使館発	
	11:00	労働・傷病兵・社会省海外労働管理局での情勢ブリーフ	海外労働管理局
	11:40	海外労働管理局発	
	12:00	昼食	
	12:30	移動 (ハノイ市～ホアビン市)	
	14:00	アーアル研究所ベトナム工場視察 (ホアビン市)	アーアル研究所
	15:30	移動 (ホアビン市～ハノイ市)	
	17:00	ハノイ市内着	
	18:30	ディナーミーティング アーアル研究所小川常務ほかベトナム工場関係者との懇談	
21:00	ホテル泊		
7/25(火)	8:15	ホテル発	
	9:00	V J C C (ベトナム日本人材開発インスティテュート) でのブリーフ	V J C C
	10:00	V J C C 発	
	11:00	V J E C 国際株式会社 (送出機関) 訪問	V J E C 国際株式会社
	12:00	V J E C 国際株式会社発	
	12:30	昼食	
	13:30	ハノイ電機短期大学訪問	ハノイ電気短期大学
	18:30	夕食	
	20:00	ノイバイ空港へ移動	
23:20	ノイバイ空港発 日本航空 JL752便	機中泊	
7/26(火)	6:30	成田空港着	
	8:16	成田空港発 (成田エクスプレス4号)	
	9:20	東京駅着	
	9:40	東京駅発 (やまびこ55号盛岡行)	
	12:22	一ノ関駅着	

※斜字は現地時間 (日本時間 - 2時間)

## 2 視察概要

### (1) 視察日程

令和5年7月23日（日）～26日（水） 2泊4日

### (2) 視察場所

ベトナム ハノイ市

### (3) 視察のねらい

さらに多くのベトナム人材が一関市で活躍してもらえるよう市および市内事業所等における取り組みを検討するため、ベトナムの現状を視察し現地機関との意見交換を行う。

### (4) 視察者

	所 属	氏 名
市（3名）	一関市長	佐藤 善仁
	商工労働部長	今野 薫
	交流推進課主任主事	菅原 優
通訳・現地ガイド（1名）	㈱ヒカリ 代表取締役	グエン・コン・フィン
両磐インダストリアル プラザ（R I P）（7名）	㈱金澤電気工業所 取締役社長	かなざわ えいじ 金澤 英治
	㈱佐々木組 取締役社長室室長	ささき けんじ 千葉 健司
	興栄通信工業㈱ 代表取締役	むらた つかさ 村田 宰
	（一社）こぐま会 こぐま保育園 副園長	かまた めぐみ 鎌田 恵
	斎藤松月堂 代表取締役	さいとう けん 斎藤 賢
	星上通信㈱ 代表取締役	たかがみ たかひこ 滝上 賢彦
	㈱高木工業所 製造部部长	いとう みつる 伊東 満

### (5) 視察先概要および視察のポイント

- ① 在ベトナム日本国大使館（60分）
  - ・ベトナム情勢の概要およびベトナム人材の若者の労働に対する意識に関する説明を受ける。
- ② ベトナム労働・傷病兵・社会省海外労働管理局（DOLAB）（30分）
  - ・送出機関の認可などに関する業務を行っている国の機関である。（日本でいう厚生労働省にあたる）
  - ・外国人材および送出機関などの現状に関する説明を受け、意見交換を行う。
- ③ ベトナム日本人材開発インスティテュート（VJCC）（60分）
  - ・日本とベトナムの両国政府の合意のもと、JICAと外国貿易大学（FTU）が協力し設立された国際人材育成機関。ベトナム人のビジネス人材に対しさまざまな日本式の研修やコンサルテーションを行っている。
  - ・外国人材およびベトナムのビジネス情勢に関して説明を受ける。
- ④ V J E C（ヴィジェック）国際株式会社（送出機関）（60分）
  - ・日本への人材の送出の現状、課題などについての意見交換を行う。
- ⑤ ハノイ電機短期大学（60分）
  - ・学生の就労意識や学校側での就労サポートについての意見交換を行う。
- ⑥ ㈱アーアル研究所ベトナム工場（60分）
  - ・市内企業のベトナム工場を視察し、現地事業についての意見交換を行う。

### 3 視察先の記録

#### (1) 在ベトナム日本国大使館

訪問日時 7月24日(月)午前9時から午前10時  
訪問者 市長、職員2名、フィン氏  
対応者 石井悠久一等書記官(労働担当)  
岡本典子二等書記官(教育担当)



- ・ベトナム情勢の概要およびベトナム人の若者の労働に対する意識についての説明を受けた。

#### <ブリーフィング要旨>

《ベトナム人技能実習生に係る最近の動向》

##### 【現状】

- ・日本への派遣は、23年に入りコロナ禍前の水準に戻ってはいるものの、人気に陰りが見えてきている。

##### 【原因】

- ・円安
- ・ベトナム国内での労働力需要の増加や賃金上昇(特に都市部)による国内就職の増加
- ・他の渡航先(台湾等)を選択する若者の増加
- ・人権意識の高まりを背景に、労働の「質」への高い関心(SNS普及により日本での人権侵害事案はすぐに広まる)

- ・4年制大学出身の人材は、グローバル化が進んでいるので海外(欧米)に目が向いている。
- ・技能実習で来日するのは、高卒・専門卒・短大卒の若者。農村部出身者が多い。
- ・以前より、「より対等なパートナー」となってきている。どこでもいいから働きに出たい、とベトナムが下手に出る時期は過ぎた。お互いWin-Winの関係。
- ・外国人労働者を地域で受け入れる土壌が何より大事。どうしても地方は賃金では都市部に勝てない。他の事で勝負するしかない。ベトナム語でSNSの発信をしてみるとか。ベトナム人を受け入れているのが目に見えてわかるようにすることが重要。
- ・技能実習制度の見直しについては、すぐになくなるものではないという政府の見解である。いいところはそのまま残し、虐待事案や転職不可になっている制度などを見直したいとのこと。
- ・政府は技能実習から特定技能への円滑な移行を目指しているが、これは受入企業にとっては悪いところを徹底的に見直して人材を改めて受け入れることができるチャンスである。また、実習生の中には、長く安定的に勤めたい人もいる。特定技能への移行が円滑にできるようになれば、日本を志望する実習生は増えるのではないかとみている。
- ・現在は、実習生が送出機関に高額な仲介手数料を全額払っている(2021年に仲介手数料に関する法律ができたこともあり、昔よりは落ちついて今は1人あたり40~50万円ぐらい)。受入側企業がこれを全額とは言わないまでも多少補助してあげることなどができれば、人材を呼び寄せるひとつのポイントになるのではないかとみている。

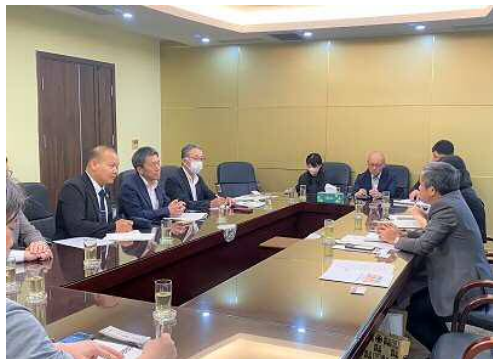
## (2) ベトナム労働・傷病兵・社会省海外労働管理局 (DOLAB)

訪問日時 7月24日(月) 午前11時から午前12時  
訪問者 市長、職員2名、フィン氏、RIP7名 計11名  
対応者 副局長 ファン・ヴェト・フォン氏  
日本事業部担当 レー・タイン氏

- ・ベトナム労働・傷病兵・社会省海外労働管理局とは  
送出機関の認可などに関する業務を行っている国の機関。日本でいう厚生労働省にあたる。
- ・外国人材および送出機関の現状に関する意見交換を行った。

### <意見交換要旨>

- ・現在、日本にいるベトナム人労働者は全部で40万人。そのうち岩手県は約2,000人で、0.5%程度。少ない印象だがその原因はわからない。
- ・今は労働者たちも渡航先を選べる立場にある。海外への労働者の約5割は日本に行くが、若い人たちが選ぶのは東京、大阪。北海道・東北は寒いというイメージがあるかもしれない。
- ・賃金アップか、厚生・労働環境の支援等を行うなど、何か強みを作って他地域と競えるようになるべきである。
- ・東北エリアからの広告が少なく知名度も低いため、積極的なPRが必要。
- ・日本は根強い人気があり、全体的に人数が増えている。韓国も人気だが、そちらは人数の制限があることから、日本の方が多。



## (3) (株)アーアル研究所ベトナム工場

訪問日時 7月24日(月) 午後2時から午後3時半  
訪問者 市長、職員2名、フィン氏、RIP7名 計11名  
対応者 常務取締役 小川敏弘氏  
ベトナム工場 副社長 ドン・ティ・チン氏  
" 工場長 堀谷 壮氏  
" 製造部長 千葉 学氏  
" 生産技術部長 千葉 佑哉氏

- ・市内企業のベトナム工場を視察し、現地事業についての意見交換を行った。

### <意見交換要旨>

- ・創業当時（2002年）から、業績・従業員数・従業員給与は右肩上がりに拡大している。
  - ・早くにベトナム進出したことにより、事業コストが安く済んだ。法が未整備だったため苦勞もあったが、かえって規制が少ないメリットもあった。その後の脱中国の流れも追い風になった。
  - ・副社長が現地企業や官公庁に顔の利く人で、良好な関係を築くのに大変助かった。人に恵まれた。
  - ・ベトナムはまだ低賃金であり、若年層人口もまだまだ多い。
  - ・明るく朗らかな性格の人が多く、心理的に気持ちが良い。文化も理解しやすい。
  - ・細かな許可規制は少ないが、その規制やルールがわかりにくいというえ、法令規制が突然厳しくなったり、その解釈がバラバラだったりする。
  - ・インフラ単価は日本の約半分。土地建物にかかるコストも日本と比べるとかなり安い（ただし現在は急激な値上がり傾向にある）。
- ・また、当日は、小川晃弘社長が作成した「日越投資事業の強みと弱み」についての資料およびアーナル研究所ベトナム工場で働く現地社員を対象とした「日本・ベトナムについての強みと弱み」についてのアンケート結果を提供いただいた。



#### (4) ベトナム日本人材開発インスティテュート (VJCC)

訪問日時 7月25日(火) 午前9時から午前10時  
訪問者 市長、職員2名、フィン氏、RIP7名 計11名  
対応者 所長 グエン・ティ・ヒエン氏  
コーディネーター ラム・ティ・ヒエン氏  
JICA チーフアドバイザー 米田 一弘氏  
JICA 専門家 監物 秀樹氏

- ・ベトナム日本人材開発インスティテュート (V J C C) とは JICA と外国貿易大学が協力し設立された国際人材育成機関。ベトナム人のビジネス人材に対し、日本式の研修やコンサルテーションを行っている。
- ・外国人材およびベトナムのビジネス情勢に関して説明を受けた。

#### <ブリーフィング要旨>

- ・技能実習生や特定技能人材が欲しいということであれば、高校生の就職説明会などに参加するのが一番のPRになる。4年生大学の学生は、高度人材としての採用がメインになる。
- ・VJCC で開講している、現地大学生に対する日本語研修・日本式国際ビジネス人材育成課程を受講している学生は、日系企業に入ることを目標としているのではない。あくまで興味のある分野が優先であり、大手企業は人気ではあるが、自分が成長できる環境であれば中小企業を選ぶ学生も多い。
- ・ベトナムではまだ日本式のビジネス術も人気がある。人事管理や生産管理、財務管理などは、ベトナム企業は未熟なところもあるため、日本式を学びにくる企業も多い。



#### (5) V J E C 国際株式会社

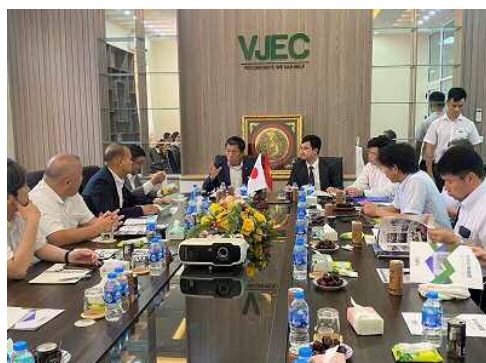
訪問日時 7月25日(火) 午前11時から午前12時  
訪問者 市長、職員2名、フィン氏、RIP7名 計11名  
対応者 代表取締役 ヴァ・アイン・ズン氏  
副社長 ド・トゥアン・ダット氏  
日本語教師 田口氏

- ・V J E C (ヴィジェック) 国際株式会社は、技能実習生派遣事業を行っている送出国機関。
- ・日本への人材の送出現状、課題などについての意見交換を行った。



### <意見交換要旨>

- ・現在、派遣に向けた研修を行っている実習生は 250 人程度。半数以上は男性。女性は 3～4 割。男性は建設業へ、女性は食品・縫製・介護業への派遣が多い。
- ・2020 年頃から、日本からの新規オーダーが減少。技能実習生から特定技能人材への希望の変更、不況による採用人数の減などが考えられる。
- ・工場勤務の仕事が人気（食品製造、機械加工など）。建設業は人気がない。
- ・人気のある職種は 30 歳以下の若年層で埋まる。30 歳以上の人たちは、建設や農業などの不人気職種に回ることになる。
- ・実習生の不安や心配は、仕事の内容などではなく、とにかく日本語のこと。日本語がわからないことで、業務上のコミュニケーションなどにも問題が出てくる。
- ・派遣担当者としては、仕事の内容の把握や、相談体制をきっちりとしてほしい。給与や仕事内容など、求人内容と実際の内容が異なる場合がある。本人がおかしいと思っても、雇用主が実際の内容を把握していないため、改善されない場合がある。
- ・実習生に積極的に話しかけてあげてほしい。面接を受けて採用されてから 4～5 か月程度、VJEC ㈱で日本語教育を行い、N4 程度(日常会話レベル)の日本語を習得してから送りだしているが、教科書で学ぶ日本語と、現場で使う日本語はまた別である。ぜひ実用性のある日本語を教えてあげてほしい。



### (6) ハノイ電機短期大学

訪問日時 7月25日(火) 午後1時30分から午後2時30分  
訪問者 市長、職員2名、フィン氏、RIP7名 計11名  
対応者 学長 ドン・ヴァン・ゴック氏  
講師2名 学生担当職員2名

- ・学生の就労意識や学校側での就労サポートについての意見交換を行った。

### <意見交換要旨>

- ・ハノイ電機短期大学は、ベトナムに約 200 校ある公立大学のひとつであり、そのうち国から支援を受けている 45 の大学のうちのひとつである。
- ・学生は、技能実習については関心がない。基本的にはエンジニア（高度人材）での派遣。卒業後は海外進出する学生が多く、その中でも日本は多い。日本進出を目指す学生には、入学と同時に日本語教育も行っている。

- ・現在は、電気機械、自動車工学などがメインで、学生数は約 3,000 人。8 月には、2 つの学校を吸収合併し、学生約 8,000 人、36 分野の教育機関となる。宿泊業・観光業などのサービス業分野の教育にも力を入れる予定。
- ・愛知県のトヨタ本社と契約し、技術的教育者としてトヨタ本社から現在学校に 2 名呼び寄せている。日本語教育も早めに行っている。
- ・他にもホンダや、国内外の大手企業との人材協力及び人材の送出行っている。
- ・市内の高等教育機関を紹介してほしい。情報交換を目的として学生を送り出したい。
- ・一関市内の企業でのインターンシップに学生を派遣することも可能である。
- ・一関市や経済団体、市内の高等教育機関とハノイ電機短期大学間で覚書または協定を結び、ハノイ短期大学の学生の雇用・インターンシップの受入・学生間交流など多角的に色々行っていきたい。



#### 全体を通したブリーフィング・意見交換等まとめ

- ・日本はまだまだ人気のある実習先であり、今後ベトナム人材の受入人数の拡大は可能。
- ・技能実習生として日本に来る若者は、派遣前に 100 万円近い手数料を負担(借金)し、来日しているため、その負担に対する手当が大切。
- ・技能実習生は、農村部の貧しい家庭の出身が多く、生活文化の違う日本で寂しい思いをしているため、企業や社会で交流することにより、相互理解することが大切。
- ・技能実習生の選択は賃金が最優先。賃金に関わることは市の単独では解決が難しいが、厚生や労働環境で支援していく工夫が必要。
- ・日本語の習得が難しいと感じられており、受入企業や公的な日本語教育の支援は有効。
- ・協定という方法を使っていくことが技能実習先に一関市を選んでもらうインセンティブの一つであり、協定締結に向けた取組みが必要。

一関市長挨拶  
LỜI CHÀO CỦA CHỦ TỊCH THÀNH PHỐ

◆はじめに

本日は、我々訪問団のためにお時間をいただき感謝申し上げます。

日本の（北部に位置する）岩手県一関市から来ました。

私は、一関市長の佐藤善仁（さとうよしひと）です。

訪問団は、市の職員と、ベトナム人の技能実習生を受け入れている事業所の代表者など、通訳も含め、総勢11人です。

◆Giới thiệu

- ・ Lời đầu tiên, Tôi xin cảm ơn quý bạn đã dành thời gian ngày hôm nay cho phái đoàn của chúng tôi.
- ・ Tôi là Yoshihito Sato, thị trưởng thành phố Ichinoseki.
- ・ Chúng tôi đến từ thành phố Ichinoseki, tỉnh Iwate (nằm ở phía bắc) của Nhật Bản.
- ・ Đoàn chúng tôi gồm 11 người, trong đó có cán bộ thành phố và đại diện các Doanh nghiệp tiếp nhận thực tập sinh kỹ năng Việt Nam, Bao gồm cả phiên dịch.

◆一関市の現状※数値は2023.6.30時点、

一関市は、人口108,368人、四季があり自然に恵まれた温暖な気候で、農業と製造業・サービス業が中心のまちです。

新幹線や高速道路が整備され、インフラは充実しています。

市内に住んでいる外国人は、1,085人で、市の人口の約1%を占めています。

そのうちベトナム人は273人で、外国人の4人に1人はベトナム人という状況です。

◆Tình trạng hiện tại của Thành phố Ichinoseki\* Số liệu tính đến ngày 30/6/2023.

- ・ Thành phố Ichinoseki có dân số 108.368 người, có bốn mùa khí hậu ôn hòa được thiên nhiên ưu đãi, là thành phố tập trung vào nông nghiệp, sản xuất và ngành dịch vụ.
- ・ Cơ sở hạ tầng hoàn thiện, có tàu cao tốc Shinkansen và hệ thống đường cao tốc.
- ・ Hiện tại có 1.085 người nước ngoài sinh sống tại thành phố, chiếm khoảng 1% dân số thành phố.
- ・ Trong đó có 273 người Việt Nam, và theo tỷ lệ cứ 4 người nước ngoài thì có 1 người Việt Nam.

◆背景

私は2021年の市長就任当初から、人口減少が一関市の最大の課題だと捉え、「しごとづくり・ひとづくり・まちづくり」ということを中心に取り組んでいます。

人口減少に対する取組は、市内・国内に目を向けるだけでなく、海外に目を向けた取組もあると常々思っていました。

私や市の幹部職員は、ベトナム人を雇用する事業所や、ベトナム人の労働者、彼らを支援するフィンさんが定期的で開催する「ベトナム料理を囲む交流会」に何度か参加しました。

交流会では、市内で働く外国人が多くいることや、外国人労働者の現状や日常生活で困っていることなどを知ることができました。

私は、今後、ますます外国人労働者の増加が見込まれると考え、外国人の方々が暮らしやすく、仕事をしやすい環境を整備する必要があると考えました。

そこで、2023年5月、外国人受入環境の改善、生活利便性の向上、コミュニケーションの支援、多文化共生の推進などを実施するため、市の庁内組織として「一関市外国人市民等支援本部」を設置し、各部署において外国人支援の検討を進めはじめました。

#### ◆Bối cảnh

- Kể từ khi tôi được bầu làm thành Thị trưởng thành phố vào năm 2021, tôi đã coi vấn đề suy giảm dân số là vấn đề lớn nhất của Thành phố Ichinoseki. Nên tôi chú trọng tập trung vào việc "tạo việc làm, phát triển con người và phát triển thành phố."
- Tôi nghĩ rằng giải quyết vấn đề giảm dân số không chỉ trong nước, trong Thành phố, mà còn ở các nước ngoài.
- Tôi và các lãnh đạo thành phố đã nhiều lần tham gia “Hội nghị giao lưu ẩm thực Việt Nam” do các doanh nghiệp sử dụng lao động Việt Nam, người lao động Việt Nam và anh Huỳnh là người hỗ trợ tổ chức thường xuyên.
- Tại buổi giao lưu, tôi đã tìm hiểu được nhiều về người nước ngoài đang làm việc tại thành phố, tình hình hiện tại của người lao động nước ngoài và những vấn đề họ gặp phải trong cuộc sống hàng ngày.
- Tôi hiểu rằng số lượng lao động nước ngoài dự kiến sẽ tăng hơn nữa trong tương lai và cần phải tạo ra một môi trường dễ dàng cho người nước ngoài sinh sống và làm việc.
- Vì vậy, vào tháng 5 năm 2023, Chúng tôi thiết lập “Bộ phận hỗ trợ người nước ngoài” Xem xét hỗ trợ cho người nước ngoài. Để cải thiện môi trường tiếp nhận người nước ngoài, cải thiện sự thuận tiện trong sinh hoạt, hỗ trợ giao tiếp và thúc đẩy văn hóa đa quốc gia.

#### ◆目的

今回の訪問は、さらに多くのベトナムの皆さんが一関市で活躍してもらえるよう、また、ベトナムの皆さんに一関市を選んでいただけるよう、まちづくりや市内の事業所等における取組を検討するため、ベトナムの現状を視察し現地機関との意見交換を行いたく、一同で訪問しました。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ◆Mục đích

- Mục đích của chuyến thăm lần này là được trao đổi ý kiến với các tổ chức địa phương về tình hình thực trạng của người lao động Việt nam. Để giúp nhiều người Việt Nam có thể hoạt động tích cực tại Thành phố Ichinoseki, cũng như các doanh nghiệp. Với mong muốn người Việt Nam sẽ lựa chọn Thành phố Ichinoseki để sinh sống và làm việc.
- Xin trân trọng cảm ơn!